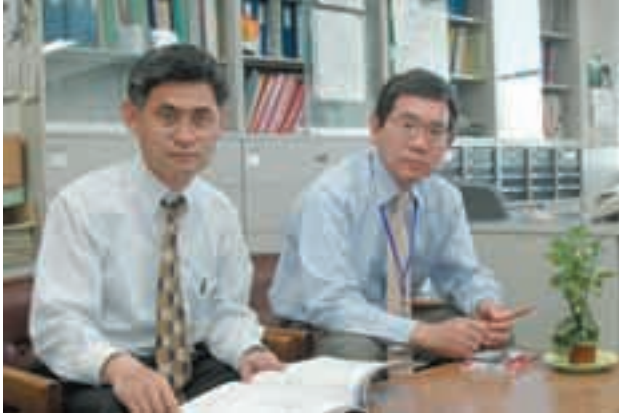


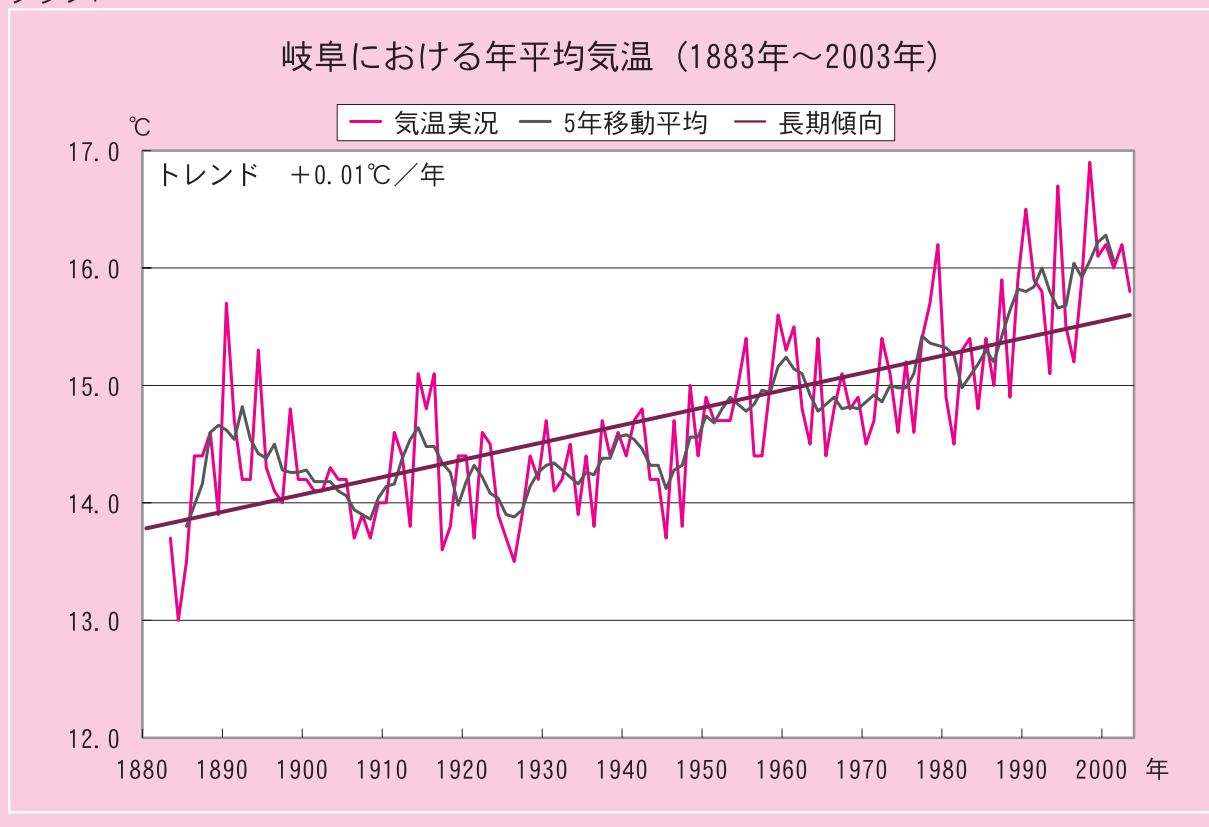
岐阜県における 気候の変化



質問にお答えいただいた岐阜地方気象台
技術課長 平井章仁さん（右）、気象情報官 高田雅浩さん（左）
岐阜地方気象台にて

岐阜県における地球温暖化の影響について、岐阜地方気象台に伺いました。
この岐阜地方気象台、1883年から気象観測を始めており、全国的にも古い観測記録があります。

グラフ1



答え 岐阜地方気象台が、気象観測を始めたのは、今から122年前の1883（明治16）年からです。当時から気温の変化を見てみると、グラフ1のようになります。

このグラフは、岐阜の年間平均気温の変化を示しています。特徴として、やはり気温の上昇がはっきりと分かるといえます。

記録を開始した年の年間平均気温は13.7度でしたが、2003年は、15.8度まで上昇しています。トレンド直線（長期傾向）を見ていただくと分かりますが、1890年代に年平均14.0度だったのが、1960年代に15.0度になり、現在15.5度を超えています。

気象庁が、都市化の影響の少ない全国17都市の年間気温を調べた結果、日本の平均気温は、100年間で1度上昇したといわれます。

このグラフを見ていただくと、岐阜県も同等かそれ以上に気温の上昇が強くなっていることが分かります。

問1

平均気温上昇の
年代別変化について